

情報システム学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務ⅢA			科目コード	12051001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。					
到達目標	自ら即就職活動ができるようになり、社会人として必要なマナー（期日厳守）・礼儀（挨拶状）を身に付け、早期出社ができるようにする。 そして、漢字力・文書力を身に付け活用できる。					
評価項目	期末試験(65%) 出欠席(5%) 提出物(30%)					
評価基準	期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ビジネスマナー基本テキスト「日本能率協会マネジメントセンター」					
関連科目						
授業計画	1. ビジネス文書の基本マナー 7コマ ①ビジネス文書：社内文書・社外文書 ②ビジネス文書：挨拶状の書き方（暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など） 2. 慶弔・贈答・会食のマナー 7コマ 3. 卒業研究準備 10コマ					

情報システム学科 2025 年度

科目名	情報処理技術者Ⅱ			科目コード	12035201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	前期	93	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。					
評価項目	模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。 加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	過去問題および模擬試験					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験 1 5 弱点補強 6 模擬試験 2 7 総まとめ 8 決起会					

情報システム学科 2025 年度

科目名	キャリアデザイン応用			科目コード	12023401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	社会人として必要なコミュニケーション力や知識を、グループ制作実習や企業訪問を通じて身に付けることを目的とする。					
到達目標	グループ制作における、周りとの協調性や、仕事の進め方、計画性。					
評価項目	レポート(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	レポート： ①体験授業制作に対するレポート（計画性の振り返り、出来栄えの振り返り） ②県外研修レポート（企業訪問 2 社） ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	キャリアデザイン基礎					
授業計画	1. 導入 2. 体験授業グループ制作 3. 県外研修					

情報システム学科 2025 年度

科目名	プログラミングⅣ			科目コード	12022001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	73	4	無
授業の概要・目的	サーブレット・JSP の基本的な文法及び考え方を学習し、サーブレット・JSP を用いたプログラミングができるようになることを目的とする。					
到達目標	サーブレット・JSP の基本（サーブレットの基礎、JSP の基礎、フォーム、MVC モデル）の理解をしサーブレット・JSP を用いた WEB アプリケーション開発ができるようになる。					
評価項目	期末試験 (90%) 授業態度 (5%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：サーブレット・JSP の基本について問う科目試験を行なう。 その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤浦 理恵			非常勤		
実務経験者による授業	大手企業で、SE として長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。 システムエンジニア 27 年					
テキスト・参考文献	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門「インプレス社」					
関連科目	プログラミングⅠ プログラミングⅡ プログラミングⅢ					
授業計画	1. HTML と Web ページ 2. Web のしくみ 3. サーブレットの基礎 4. JSP の基礎 5. フォーム 6. MVC モデルと処理の遷移 7. リクエストスコープ 8. セッションスコープ 9. アプリケーションスコープ 10. アプリケーション作成 11. サーブレットクラスの実行のしくみとフィルタ 12. アクションタグと EL 式					

情報システム学科 2025 年度

科目名	Web アプリケーション演習			科目コード	12021401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	64	4	無
授業の概要・目的	HTML、CSS、JavaScript を活用した Web アプリケーションを様々な開発ツールを活用し、開発できるようになることを目的とする。					
到達目標	Web アプリケーションのフロントエンド部分の開発を行うのに必要不可欠な JavaScript の技術について学習します。 スマートフォンアプリケーション開発環境である Monaca を活用し、Web プログラミング技術を身に付けます。					
評価項目	期末試験 (90%) 授業態度 (5%) 出欠席 (5%)					
評価基準	JavaScript を使用したプログラミングについて、環境・仕組み・メリット・デメリット・コーディング等について問う科目試験を行う。その試験結果により判定する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7 年 営業サポート 1 年					
テキスト・参考文献	確かな力が身につく JavaScript「超」入門 第 2 版「SB クリエイティブ」					
関連科目	HTML・CSS					
授業計画	Chater1. イントロダクション Chater2. アウトプットの基本 Chater3. JavaScript の文法と基本的な機能 Chater4. インプットとデータの加工 Chater5. 一歩進んだテクニック Chater6. jQuery 入門 Chater7. 外部データを活用したアプリケーションに挑戦					

情報システム学科 2025 年度

科目名	システム開発Ⅱ				科目コード	12014301	
区分		開講時期			時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	61	4	無	
授業の概要・目的	UML を用いたシステム設計手法で、要求内容から、適切な情報を抽出し適切な手法で設計書を作成できることを目的とする。						
到達目標	テキストの演習課題を通して、設計フェーズで登場する様々な図の書き方、意味を学びます。演習の内容を自分なりの考えを持って解釈し、適切な設計手法を選択できるようになる						
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)						
評価基準	期末試験：設計フェーズで登場する様々な図の書き方や意味、自分なりの考えを問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	藤浦 理恵				非常勤		
実務経験者による授業	大手企業で、SE として長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。 システムエンジニア 27 年						
テキスト・参考文献	Java システム開発技法 JDBC プログラミング/UML「インフォテックサーブ」						
関連科目	システム開発Ⅰ システム開発Ⅲ						
授業計画	1. オブジェクト指向開発入門 2. 要件定義とダイアグラム 3. オブジェクト指向分析のダイアグラム① 4. オブジェクト指向分析のダイアグラム② 5. その他のダイアグラム						

情報システム学科 2025 年度

科目名	システム開発Ⅲ			科目コード	12014401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	仕様書の解析、コーディング、テストの流れを理解し、仕様書から適切な情報を読み取り、プログラミングを行うことができることを目的とする。					
到達目標	テキストの演習課題を通して、ユーザ要求、設計書、プログラミングのつながりを理解し、実務に即した知識を学習する。要求内容から、設計書作成、コーディング、テストまでができるようになることを期待する。					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：仕様書から適切な情報を読み取り、プログラミングを行う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤浦 理恵			非常勤		
実務経験者による授業	大手企業で、SE として長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。 システムエンジニア 27 年					
テキスト・参考文献	Java システム開発演習「インフォテックサーブ」					
関連科目	システム開発Ⅰ システム開発Ⅱ					
授業計画	1. ソフトウェア要件定義 2. ソフトウェア方式設計 3. ソフトウェア詳細設計 4. ソフトウェアコード作成及びテスト					

情報システム学科 2025 年度

科目名	システム開発実践			科目コード	12022801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	60	4	有
授業の概要・目的	システム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や独力で開発を進める技術力を身に着け、卒業研究につなげる。また、チームで開発を行うことでチームワークを身につけることを目標とする。					
到達目標	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。各自主体的に役割を持ち、積極的に参加することを期待する。					
評価項目	制作物 (50%) プレゼンテーション (20%) レポート (20%) 授業態度 (5%) 出席点 (5%)					
評価基準	制作物：チーム内で開発した制作物。 制作物：制作物のプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。 レポート：チーム内での役割をふまえ制作にどう関わったかレポートにまとめ評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	妹尾 潤			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7 年 営業サポート 1 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	システム開発 I					
授業計画	1. 導入 2. 企画 3. 要件定義 4. 基本設計 5. プログラミング (PoC) 6. プレゼン準備 7. プレゼンテーション					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務IVA			科目コード	12051101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	1 年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指すため、該当する検定を受験する。 この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。また、社会人としての心構えを身につける。					
到達目標	任意検定の受験 ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書検定 ③秘書検定 ④漢字検定					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ビジネスマナー基本テキスト「日本能率協会マネジメントセンター」 プリント対応					
関連科目						
授業計画	1. テーブルマナー 2 コマ 2. 検定対策 10 コマ ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書 ③秘書検定 ④漢字検定					

情報システム学科 2025 年度

科目名	Linux II			科目コード	12017001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	65	4	無
授業の概要・目的	Linux の基本的なコマンド操作およびサーバ構築ができる。 シェルスクリプトによるバッチ処理も学ぶ。					
到達目標	仮想環境を用いて LinuxOS をインストールし、コマンドラインを用いて様々な設定ができる。 Linuc Level1 に合格できるレベルの知識とスキルを習得できる。					
評価項目	期末試験 (70%) 確認テスト (25%) 出席率 (5%)					
評価基準	授業で学んだ Linux 及びその操作に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	基礎からしっかり学ぶ Linux 入門「技術評論社」					
関連科目	Linux I					
授業計画	1 Linux の基本 2 bash シェルの基本 3 ファイルとディレクトリ 4 vim の利用 5 応用的なファイル操作 6 アカウントの管理 7 パーミッションとユーザー権限の切り替え 8 検定対策					

情報システム学科 2025 年度

科目名	プログラミング演習 II			科目コード	12021901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	62	4	無
授業の概要・目的	システムの運用・管理に必要な、処理の自動化を Python と Excel を中心に学び、DX 推進人材としての技術・知識の基礎を身に付ける					
到達目標	Python を使用して、Excel の操作が出来るようになる。 大量のテストデータ作成や、データの可視化が出来るようになる。 Python 検定 3 級および 2 級取得レベルを目指す。					
評価項目	課題 (60%) 期末試験 (35%) 出席点 (5%)					
評価基準	授業で学んだ内容を課題により実践する。 技術知識の理解について、筆記試験を実施する。それらの結果により評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	Pithon&Excel 自動処理全部入り「impress」					
関連科目	プログラミング演習 I					
授業計画	1. 導入 (VSCode と Python のインストール) 2. 基本文法 3. Python による Excel 基本操作 4. Python による Excel 見た目操作、グラフによるデータ可視化 5. Python による Excel 応用操作 6. ライブラリでテキストデータ処理自動化 7. ライブラリでデータ収集自動化					

情報システム学科 2025 年度

科目名	クラウド環境構築演習				科目コード	12022901	
区分		開講時期			時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	63	4	無	
授業の概要・目的	IT 業界でもニーズの高い AWS (Amazon Web Services) のプラットフォームを活用した Web システムの開発技術を習得する。						
到達目標	S3、EC2（Apache+MariaDB+PHP）など主要な環境を構築できる。						
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)						
評価基準	期末試験：クラウド環境構築について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	木戸 善之				非常勤		
実務経験者による授業	アプリケーション、ミドルウェア開発 9 年						
テキスト・参考文献	ゼロからわかる A W S 超入門「技術評論社」						
関連科目	ネットワーク演習						
授業計画	1：AmazonWebServices とは何か 2：AWS をはじめよう 3：Web サイトの公開 4：LAMP サーバーで WordPress を動かす 5：データベースの活用						

情報システム学科 2025 年度

科目名	サーバ・セキュリティ			科目コード	12023001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	67	4	無
授業の概要・目的	ネットワークやサーバーの運用・管理に必要な知識を身に付ける。 障害対策やセキュリティ面の知識・技術を身に付け、セキュリティ意識の高いエンジニアになる基礎を身に付ける。					
到達目標	サーバーの種類の理解。 社内サーバー運用における知識を修得し、簡易的な環境構築が出来る。 クラウド上に環境構築することが出来る。					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：サーバ、ネットワーク、セキュリティについて問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	木戸 善之			非常勤		
実務経験者による授業	アプリケーション、ミドルウェア開発 9 年					
テキスト・参考文献	この一冊で全てわかるサーバーの基本第 2 版「S B クリエイティブ」					
関連科目	ネットワーク演習					
授業計画	1. サーバーとは 2. ネットワークの基礎知識 3. サーバーを用意する 4. 社内サーバーの基本 5. 公開サーバーの基本 6. サーバーを障害から守る 7. サーバーのセキュリティ					

情報システム学科 2025 年度

科目名	システム運用実践			科目コード	12023501	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	前期	61	4	有
授業の概要・目的	IT システムの運用業務について職種の概要から実業務、必要となるスキル・基礎知識を取得する。					
到達目標	運用業務及びシステムエンジニアの業務を学び、システム開発だけでなく、運用も含めたシステムライフサイクル全体を理解する。					
評価項目	期末試験 (80%) 課題提出 (10%) 授業態度 (5%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：IT システムの運用業務について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 課題提出：各授業で行われる単元別の課題を提出して理解をはかる。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	独自開発テキスト					
関連科目	システム運用概論					
授業計画	1. 運用業務とは（概要） 2. 運用業務とは（実務） 3. ITIL Foundation とは（概要） 4. IT システムの構築 ハンズオン 5. ITIL Foundation とは（実務・詳細） 6. ITIL（振り返り） 検索技術 IT 関連の法律 7. 情報セキュリティ 8. 情報セキュリティ事事故事例と IT システムの監視 9. IT システムの設計					

情報システム学科 2025 年度

科目名	基本情報技術者Ⅲ			科目コード	12035301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2 年次	後期	88	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。					
評価項目	模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	過去問題および模擬試験					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験 1 5 弱点補強 6 模擬試験 2 7 総まとめ 8 決起会					

情報システム学科 2025 年度

科目名	卒業研究			科目コード	12011401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	後期	237	4	有
授業の概要・目的	クロスエデュケーションの課題に対してシステム開発の一連の工程を経験することで、開発の要点や独力で開発を進める技術力を身につけ、チーム開発を行うことでチームワークを身につける。また、課題解決を行うことで企業とのつながりを強く持つことを目的とする。					
到達目標	IT を使用してどんな解決ができるか企画し、開発、テスト、プレゼンテーションを行い、自分の立ち位置を考えてメンバーと協力しながら納期内に完成させる。2 年間の集大成として、業界の抱えている問題を解決することを目標として、学科コラボに取り組み他学科と協働する。					
評価項目	課題制作物 (50%) 中間発表 (45%) 出欠席 (5%)					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	ここまで学習した全ての科目					
授業計画	開発実習					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ペン字上級			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。					
到達目標	書き込み式のテキストを使用。 行書のポイント、ルールの解説。 反復練習したものを個別指導により上達をはかる。日常生活に役立つ課題で、楽しく学び続けることを期待する。					
評価項目	一筆箋(50%) 封筒(10%) ハガキ表(10%) ハガキ裏(10%) のし袋（筆ペン）(10%) 出欠席(5%) 感想(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅 佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり 30 年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	大人字にかわる ペン字練習帳「新星出版社」					
関連科目						
授業計画	1. 美しい行書のルール 2. 漢字の正しいくずし方（部首別） 3. ひらがなのリズム 4. ひらがなの連綿（つづけ方） 5. 封筒、ハガキの表書き 6. はがきの裏（年賀状、暑中見舞い、メッセージカード） 7. 一筆箋 8. のし袋（筆ペン）					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ビジネス英語			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。					
到達目標	・挨拶、依頼表現、電話取次を簡単な表現で出来るようになる。 ・メールで頻出の表現を使えるようになる。					
評価項目	期末試験(90%) 授業態度(5%) 出席率(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	佐藤 眞佐子			非常勤		
実務経験者による授業	民放局アナウンサー8 年。全国各地で高校生に英語英会話指導 20 年以上。英語スピーチコンテスト等での日英司会、トーストマスターズクラブでの日英スピーチ中四国大会優勝、全国大会ファイナリスト。日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート資格を活かし、仏・豪ワイナリー訪問多数。トーストマスターズクラブワイナリー訪問を通じた異文化コミュニケーション経験も豊富。					
テキスト・参考文献	キクタン英会話（オフィス編）					
関連科目						
授業計画	1. 基本フレーズ 2. 基本フレーズ 3. あいさつ 4. 始業前 5. 日常業務 6. 備品・機器 7. 休憩 8. 来客・面会 9. 電話 10. 会議 11. 予定 12. アフター 5 13. ロールプレイ演習 14. ロールプレイ演習 15. 電子メール 16. 試験対策・重要表現					

情報システム学科 2025 年度

科目名	エクセル上級			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	Excel のスキルををあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PC スキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。					
到達目標	関数を使った集計や分析、ピボットテーブルやマクロなど Excel の機能を活かした資料作成能力を身に着ける					
評価項目	期末考査 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 敬輔			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	1. Excel 基礎知識の確認 2. Excel 基礎知識の復習 3. ショートカットキーの活用 4. 関数の活用（vlookup. sumif） 5. 機能の紹介(マクロ・ピボットテーブル) 6. 練習問題					

情報システム学科 2025 年度

科目名	医療事務			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。					
到達目標	医療保険制度の仕組みを理解する。 医療事務の業務内容を理解する。 簡単な医療費の計算を習得する。					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	矢ヶ崎 忍			常勤		
実務経験者による授業	医療機関にて約 8 年間、7 医事課に所属し各外来・入院受付、会計、診療報酬請求業務、クラーク業務を担当					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	1. 医療機関の概要 2. 医療機関の仕事 3. 医療費の計算					

情報システム学科 2025 年度

科目名	RPA 実習			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	作業自動化ツールである RPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。					
到達目標	事務作業の分析を行い、Power Automate Desktop に手順を登録して、実際に作業の自動化を行えるまでのスキルをつける。					
評価項目	レポート(90%) 授業態度(5%) 出欠席(5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。 SE・プログラマー6 年					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	1. 環境準備 業務自動化のメリットを考える 2. レコーダ機能を使ったフロー作成 3. EXCEL 作業を自動化 4. Web フォームへの自動化 5. 業務シーン別のテクニック理解 6. 自動化業務の作成、発表					

情報システム学科 2025 年度

科目名	情報リテラシー				科目コード	12090001	
区分		開講時期			時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無	
授業の概要・目的	業務で役立つ Windows の便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識や AI の活用方法などについて学ぶ。						
到達目標	社会人になるにあたり教養、たしなみ、判断力、理解力等を身につける。						
評価項目	期末考査 (90%) 授業態度 (5%) 出欠席 (5%)						
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。						
担当教員	藤井 克俊、岡本 和也、近藤 進介				常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。						
テキスト・参考文献	プリント						
関連科目							
授業計画	1. Winidows の操作 2. 情報セキュリティ 3. AI の活用						

情報システム学科 2025 年度

科目名	データマーケティング			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excel を活用した分析手法についても修得する。					
到達目標	データを基に読み込んだ情報についてまとめて発表することができる。					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治、田中 光			常勤		
実務経験者による授業	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。					
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. オリテ 2. ビッグデータとは 3. データの活用 4. グラフの作成 5. その他データの活用と各業界の関連 6. マーケティングの基礎・活用					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ファイナンシャルプランナー			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。					
到達目標	学んだ知識を第三者に伝えることができる。用語が理解できる。					
評価項目	期末試験 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤野 流光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	1. ライフプラン 2. リスクマネジメント 3. 金融資産 4. タックスプランニング 5. 不動産 6. 相続					

情報システム学科 2025 年度

科目名	一般知能			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	講義	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。					
到達目標	いくつかの条件を整理して、答えを導き出していくという論理的思考力を身につけることが目標である。					
評価項目	期末試験(60%) 確認テスト(35%) 出席率(5%)					
評価基準	確認テスト：各授業で行われる単元別確認テストで理解度をはかる。期末試験：数的処理能力を問う科目試験を行う。その試験結果により判定し、評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	武下 浩史			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. 暗号 2. 速さ 3. 図形問題 4. 対応関係 5. 食塩水 6. 勝敗 7. うそつき					

情報システム学科 2025 年度

科目名	フラワーアレンジメント			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。					
到達目標	花への興味を深め、毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し植物の知識を身につける。					
評価項目	作品(90%)、授業態度(5%)、出席率(5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	永宗 教子			非常勤		
実務経験者による授業	フラワーアレンジメント実務30年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	1. 植物の扱い方 2. 吸水フォーム 3. テーブルアレンジ 4. 復習 5. ブートニア 6. ミニブーケ 7. リース					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ゲームプログラミング			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける					
到達目標	一見難しいプログラミングなども諦めずコツコツと積み上げていくことで完了させられることを体感する。					
評価項目	課題提出 (95%) 出席率 (5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	宇野 光司			常勤		
実務経験者による授業	通販、介護、銀行等のシステム開発経験を活かし、学生が情報処理に関する基礎的知識を習得できるよう、講義を行う。					
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. Unity の概要 2. プログラミングとアルゴリズム 3. プログラミング環境構築 4. プログラミング実習 5. プログラミング改変					

情報システム学科 2025 年度

科目名	広告映像			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	会社の広報 SNS などに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。					
到達目標	効果的な動画構成を理解して制作できるようになる。					
評価項目	課題提出 (95%) 出席率 (5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	赤木 沙英子			常勤		
実務経験者による授業	CM 企画・制作 11 年 ディレクター 9 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	1. 動画制作の基本的な考え方 2. 動画制作の基本操作、 3. 課題：ドラマカット① 4. 課題：ドラマカット② 5. 課題：クラス動画					

情報システム学科 2025 年度

科目名	ビジュアルデザイン			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	デザインアプリ Figma を使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。					
到達目標	情報を適切に伝えるための視覚表現力を身につける。					
評価項目	課題提出 (95%) 出席率 (5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	太田 真行			常勤		
実務経験者による授業	広告ディレクター：3 年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目						
授業計画	1. 商業デザインの基本的な考え方 2. デザインアプリの基本操作 3. 課題：名刺 4. 課題：チラシ 5. 課題：ポスター					

情報システム学科 2025 年度

科目名	世界情勢			科目コード	12090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付ける					
到達目標	ワークショップの中で異文化を理解・共感する姿勢を身につけ、世界の問題を自分ごととしてとらえられる力を養いながら、自身の意見をもちそれを発信できるようになる。					
評価項目	期末レポート(45%) 課題レポート(50%) 出欠席(5%)					
評価基準	各授業の課題レポートと期末レポートにより総合的に評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. 世界の言葉で「こんにちは」 2. 100人の村 3. あなたの夢は何ですか、私の夢は大人になるまで生きることです 4. 世界の問題 5. 世界の問題②					